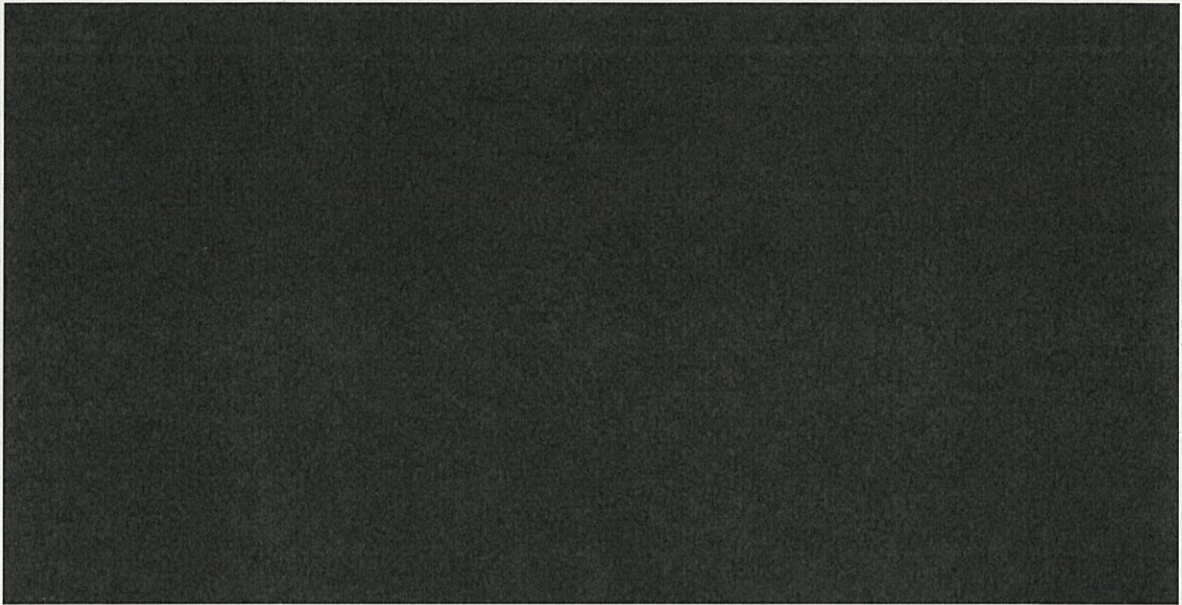


CURRENT SITUATION



バグダッド日誌 (2月18日)

○世界の中心で...

ここにいれば、様々な人に出会う。もちろん、様々な国から来ているので当たり前のことであるが、その変化を感じるのが心地良かったりする。イラクの人だと思って「アッサラーム・アライクム」と言っても、「？」な顔をされて、話を聞いたらトルコ人だったり、米軍のユニフォームを着ているのに、理解できない言葉を喋っているの、聞いてみたら中米出身だったり、この変化は、バグダッドならではの経験だ。

ところが、この人達だけは世界共通だと思える瞬間が何度かあった。ある日の昼食時、私の前を歩いていたある女性がお盆のお皿を落してしまった。当然、それを拾おうとしてしゃがみ込んだ。私はそれを見て立ち止まると、皿を拾って立ち上がった女性は、私の方に振り返ると、「ア〜イム ソ〜リ〜！（あ〜ら、ごめんなさあ〜い。） ホッ ホッ ホッ...」（アクセントが伝えられないのが悔しい。）と、無駄な笑いを残して去っていった。また、ある日、生演奏をしている食堂で、座るところがなかなか見つからず、バンドの近くのテーブルが空いているのを見つけ、座ろうとしたところ、そばに座っていたある女性が、私が座ろうとしている空席に荷物を置いた。「誰か来るから席を取っているのかな。」と思って、隣の席に座ろうとしたところ、同じく荷物を置かれた。しかたなく離れた席に行ったのだが、その人はバンドが見たくて視界を邪魔されたくないようだった。その時、「〇〇はん。ここや。ここ空いてるで！」と、空いている席にハンカチを置く大阪のおバハンがフラッシュバックした。そう、その人達とは「Middle Aged Lady」。世界はこの人達を中心に動いている。

○バグダッドから見る朝日は君の瞳のように美しい

と思わずメールに書いてしまいそうな素晴らしい光景をここでは見ることができる。地平線から昇る燃えるような朝日からは一日の活力を、夕暮れ時シルエットとなった宮殿に沈む夕日からは安息をもらっている。

朝 日



夕 日

